

たちかわ市民交流大学・講演会

# 『遠野物語』の新たな読み方とは 『原本遠野物語』から学ぶ

国内の山村にして遠野よりさらに物深き所には

また無数の山神山人の伝説あるべし

願わくはこれを語りて平地人を戦慄せしめよ

遠野物語 序文より



**講師 小田富英 氏（『原本遠野物語』 編集委員）**

**日時 2023年5月13日（土）午後2時から午後4時**

**会場 立川市柴崎学習館・第一視聴覚室**

**受講料 300円を予定しています（資料代として）**

**参加申し込み E-Mail: [iketanit1954@yahoo.co.jp](mailto:iketanit1954@yahoo.co.jp)**

（参加希望、お名前、ご連絡先を記載のうえ送信ください）

**主催：立川柳田国男を読む会（お問い合わせ 090-4918-6137 池谷）**

『柳田國男自筆 原本 遠野物語』

(2022年1月 岩波書店刊行)

(BOOKS 書誌情報より)

聞き書きの稀有なる実践、『遠野物語』。その生成過程を110年余を経て今に蘇らせる貴重資料を初公開。柳田国男の息遣いを鮮やかに遺す毛筆草稿、出版の企図に満ちたペン字原稿、修正が記された初校の影印を、350部限定の自費出版であった初版本の版面とともに収録



なりとハ昔より人の言ふとなり四山の最秀たるもの  
 を早地帯ハヤチネといふ地の方より五ロウコウ六コウ角牛カウお菓の方より  
 リお水ミヅアウ又マタ活イカなりとおぼし石神と云ふ山は高さ  
 ニ山よりハ岩イハより古き傳説ニ女神三人の娘を伴ひ  
 乙ニ乙ニ山ノ高ク原ニまり来内と云ふ推測宿し夜を去る  
 靈イ草クサより乙ニ姉ノ姫ノ胸ニ止りしを末の姫ノ守之を  
 取りて我胸の上ニ置きて寝りしうは最ニ好き早地帯  
 の山を得たり三人の姫各一の山を得て今ル之を飲  
 ト玉タマより遠野の女メ共ニ其ノ姫を恐れて更ニ乙ニ山々  
 ニハ遊ばはずと云へり  
 三、山々の奥ニハ山人住めり千千年年市市七七十十能能  
 身ミを御の作本本 上上兵兵志志といふ翁翁若若き深山ニ隠せに  
 遙ト有る巖ノ上ニ羨しき女一人長き黒髪を梳りて  
 居たり色色極めて白く不敵の者有りしう直ニ鏡を  
 ナリ向けて打放せに彈ニ應じて倒れたり其所ニ  
 馳走けて見れば身ノ長き女ヲ解きつつる坡ハ又